

(別添様式2)

1. 福井県環境保全基金の残高

年度	項目		金額(円)	備考
令和元年度	①	年度当初基金残高	408,489,332	
	②	基金運用益	204,262	
	③	寄付金等収入		
	④	処分額	41,111,698	
令和2年度	⑤	年度当初基金残高	367,581,896	(=①+②+③-④)
	⑥	基金運用益	149,129	
	⑦	寄付金等収入		
	⑧	処分額	30,671,276	内訳は下表のとおり
	⑨	年度末基金残高	337,059,749	(=⑤+⑥+⑦-⑧)

2. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考
		合計	一般財源等	基金充当額	
1	自然と共生する社会づくりの推進	5,971,269	18,700	5,952,569	
2	地球温暖化対策の推進	21,559,162		21,559,162	
3	環境について自ら考え行動する人づくり	3,183,310	23,765	3,159,545	
4		0			
5		0			
6		0			
7		0			
8		0			
9		0			
10		0			
11		0			
12		0			
13		0			
14		0			
15		0			
16		0			
17		0			
18		0			
19		0			
20		0			
合 計		30,713,741	42,465	30,671,276	

令和2年度 事業報告書

事業名	自然と共生する社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	自然環境保全対策事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県安全環境部環境政策課・自然環境課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

年縞をはじめとした嶺南地域における資源を活用し、幅広い世代に対しエネルギーや環境の問題に関して啓発を図り、その解決策等について考える機会を提供する。

2. 概要

地元の宝である年縞から過去の気候変動の変遷やメカニズムを読み解くことにより地球温暖化の原因を解明し、その過程や内容について、広く県民に対し普及啓発を行う。

3. 根拠法令等

福井県環境基本条例

4. 実施内容等

- (1) 「残そう・伝えよう！」身近な生きもの保全事業【648千円】
地域と小学校が共動し、地域の身近な自然環境の保全・再生を行うため、子どもたちが地域の自然再生団体とともに身近な生きものの調査・保全活動を行う。
○支援団体：5団体
○参加学校：6校
○参加児童：約240名
- (2) 里山文化体験講座【443千円】
地域のお年寄り等を講師に、里山里海湖（さとやまさとうみ）の伝統的な人の営みを題材とした里山文化を体感することで環境意識を啓発するとともに、里山里海湖に関する知識・情報を提供し、県民の保全活動の意識を高める。
○体験講座実施回数 5回
○参加者数 148人
- (3) 森と海湖のつながり体感事業【4,481千円】
気軽に県民が里山里海湖体験ができる機会を提供することで、県民の環境意識を啓発するとともに、里山里海湖に関する知識・情報を提供し、県民の保全活動の意識を高める。
- ①福井ふるさと学びの森事業
子どもの教育・実践を総合的に実施するフィールドとして「福井ふるさと学びの森（あわら・若狭の2エリア）」を開設し、学びの森において体験活動を実施
○イベント等開催回数 5回
○参加者数 延べ128人
- ②福井ふるさと学びの森・海湖ネットワーク事業
里山里海湖を知り、触れることで県民の保全活動につなげるため、里山里海湖体験活動に取り組む県内団体等と活動場所を登録し、情報を発信するとともに、学びの森登録団体または新規に学びの森への登録を目指す団体の先進的な活動を支援
○学びの森登録団体の状況
・登録団体数 34団体
・イベント等開催回数 225回
・参加者数 延べ4,384人
○先進的な活動に対する支援の状況
・支援団体 4団体
・支援額 1団体あたり200千円

令和2年度 事業報告書

事業名	自然と共生する社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	自然環境保全対策事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県安全環境部環境政策課・自然環境課	終了年度	令和9年度

(4) 「せせらぎ定点観測」事業【399千円】
 小学生が地域の河川や用水路をフィールドに水質や水生生物、景観などを調査することにより、地域の水環境に対する関心を高め、将来にわたって、自発的に水環境の保全活動を促す。

○実施状況・参加者数
 8月：間戸川（福井市）24名、足羽川（福井市）26名、浄土寺川（勝山市）18名、木ノ芽川（敦賀市）28名
 9月：竹田川（坂井市）22名、足羽川（池田町）26名
 ※大雨による増水のため中止：南川（おおい町）31名

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	157,040		157,040	
職員旅費	0			
講師旅費	11,660		11,660	
消耗品費	166,055	8,400	157,655	
印刷製本費	337,040		337,040	
修繕料	275,363		275,363	
役務費	176,059	10,300	165,759	
借料	49,500		49,500	
委託費	3,384,357		3,384,357	
補助金	1,414,195		1,414,195	
合計	5,971,269	18,700	5,952,569	(単位：円)

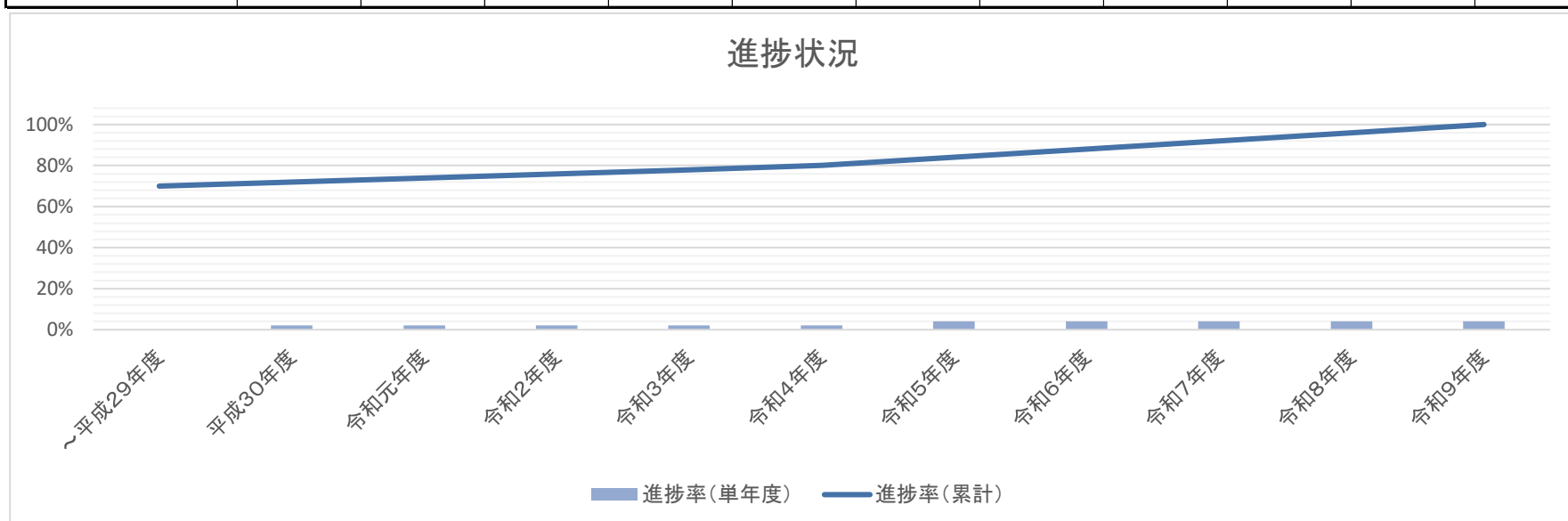
年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		4,903	9,549	5,953	9,819	9,827	13,000	13,000	13,000	12,000	12,000
事業費（累計）		4,903	14,452	20,405	30,224	40,051	53,051	66,051	79,051	91,051	103,051

令和 2 年度 事業報告書

事業名	自然と共生する社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	自然環境保全対策事業	開始年度	平成 3 0 年度
担当部署	福井県安全環境部環境政策課・自然環境課	終了年度	令和 9 年度

6. 進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率（単年度）		2%	2%	2%	2%	2%	4%	4%	4%	4%	4%
進捗率（累計）	70%	72%	74%	76%	78%	80%	84%	88%	92%	96%	100%



令和2年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策の推進	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」強化事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県安全環境部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

地球温暖化問題は我々の生命・生活の基盤に直接関わることであり、県全体が将来世代のことに目を向けることが重要である。省エネをはじめとするさまざまな対策を進めていくにあたり、県民が自発的に省エネ対策に取り組むための意識醸成を図る。

2. 概要

温室効果ガスの削減には、県民や事業者が、各々の生活、事業活動の中で、身近な取組みを着実に実践することが重要である。温室効果ガスの更なる排出削減に向け、「電気使用量が多い」「世帯当たりの自動車保有台数が全国1位」といった本県の課題に対応する実践的な県民運動を展開する。

3. 根拠法令等

福井県環境基本条例

4. 実施内容等

- (1) テーマに沿った県民の地球温暖化防止活動の推進【21,559千円】
 家庭の日（毎月第3日曜日）を省エネ行動を推進する統一行動日に設定し、季節ごとのテーマで手軽にできるエコな取組みを実施する。
- テーマに沿った統一行動「エコチャレ」の例
- 7～8月「夏をエコに涼しく快適に！身近にできるエコチャレ実践！」
- ・冷蔵庫にもものを詰めすぎないで！
 - ・マイボトルでこまめな水分補給を！
 - ・グリーンカーテンやすだれ等で涼しい工夫を！
 - ・夏は朝夕の打ち水でクールダウン！
- 9～11月「エコ移動に心がけて旬の食材を楽しむ！エコチャレ実践！」
- ・移動には公共交通機関や自転車や徒歩で！
 - ・エコカーやエコドライブで車利用の工夫を！
 - ・地産地消の身近な食材でCO₂の排出削減！
 - ・ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）で省エネ・創エネしよう！
- 12～2月「冬こそ省エネ！みんなで楽しくエコチャレ実践」
- ・LEDライトで明るい“あかり未来計画”
 - ・着るもので体温調整して快適に過ごそう！
 - ・冬はみんなで鍋や根菜類で体の芯から温まろう！
- 3月「もうすぐ春！身近なロスを見直そう！エコチャレ実践」
- ・3Rを意識してゴミの分別をしよう！
- ①クールシェア・ウォームシェア事業の実施
 夏（冬）期間、涼しく（暖かく）過ごせる場所等を登録・周知し、過度に電気等に頼らない取組みを実施する。
 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、令和2年度は中止
- ②省エネ家電買替キャンペーンの実施
 省エネ性能の高い家電への買替えを促すため、県内協力店舗において、省エネ性能が4つ星以上の省エネ家電の買替キャンペーンを実施する。
- 協力店舗 227店舗
 - 応募総数 258件

令和2年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策の推進	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」強化事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県安全環境部環境政策課	終了年度	令和9年度

<p>③ネットゼロエネルギーハウス（ZEH）普及啓発イベントの実施 温室効果ガスの削減に加えて、生活を豊かにするZEHの様々な魅力を広く県民に周知しZEHの普及促進を図る。 ○イベント開催状況 8/1「住宅フェス2020 in 敦賀」（ZEHセミナーの開催、EV・V2Hの展示、パネル展示 等） 8/8～10「家の森DAY」（ZEHセミナーの開催、EV・V2Hの展示、パネル展示 等）</p> <p>④県民主体の省エネ普及啓発事業 省エネ意識の高い主婦（夫）やこれから省エネに関わる若者の視点で、効果的な省エネ活動を企画・実践する。また、主婦（夫）・若者による活動内容を発信し、県民へ楽しい省エネ活動を波及させる。 ○省エネ活動グループ参加者数 15名 ○省エネ活動グループ企画イベント実施回数 5回 ○省エネ活動グループによる動画作成・配信 5回</p> <p>⑤次世代（省エネ）自動車導入促進事業 温室効果ガスの排出削減に効果的な電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHV）等が有する外部給電機能を利用した、家庭や災害時における有効活用方法を広く県民に周知し、EV・PHV等の一層の普及を図る。 ○外部給電器購入台数 1台 ○イベント等での活用例 ・ZEH普及啓発イベント（上記）…冷蔵庫、サーキュレーター等への給電 ・ふくいまちかどミニコンサート…照明・音響機材等への給電 ・三国高校文化祭…扇風機・冷風機への給電</p> <p>⑥燃料電池自動車普及啓発イベントの実施 県内初商用水素ステーションの開所に向けて、燃料電池自動車（FCV）に対する県民の関心を高め、FCVの県内普及を促進するとともに、「車を使う県民一人ひとりの選択や行動がCO2排出量削減および環境保全につながる」という知識の普及と意識向上を図る。 ○イベント開催日時 令和3年3月27日（土） ○実施内容 ・水素ステーション特別見学会 ・FCV展示・試乗体験 ・MIRAIのRCカーを使った燃料電池教室 ・ステージイベント（エコマジシャン・ミヤモによるECOマジックショー） ・エコドライブ体験会 ○参加者数 約700人</p>
--

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	165,000		165,000	
職員旅費	0			
講師旅費	42,940		42,940	
印刷製本費	0			
借料	153,780		153,780	
委託費	2,512,942		2,512,942	
備品購入費	654,500		654,500	
補助金	18,030,000		18,030,000	
合計	21,559,162	0	21,559,162	(単位：円)

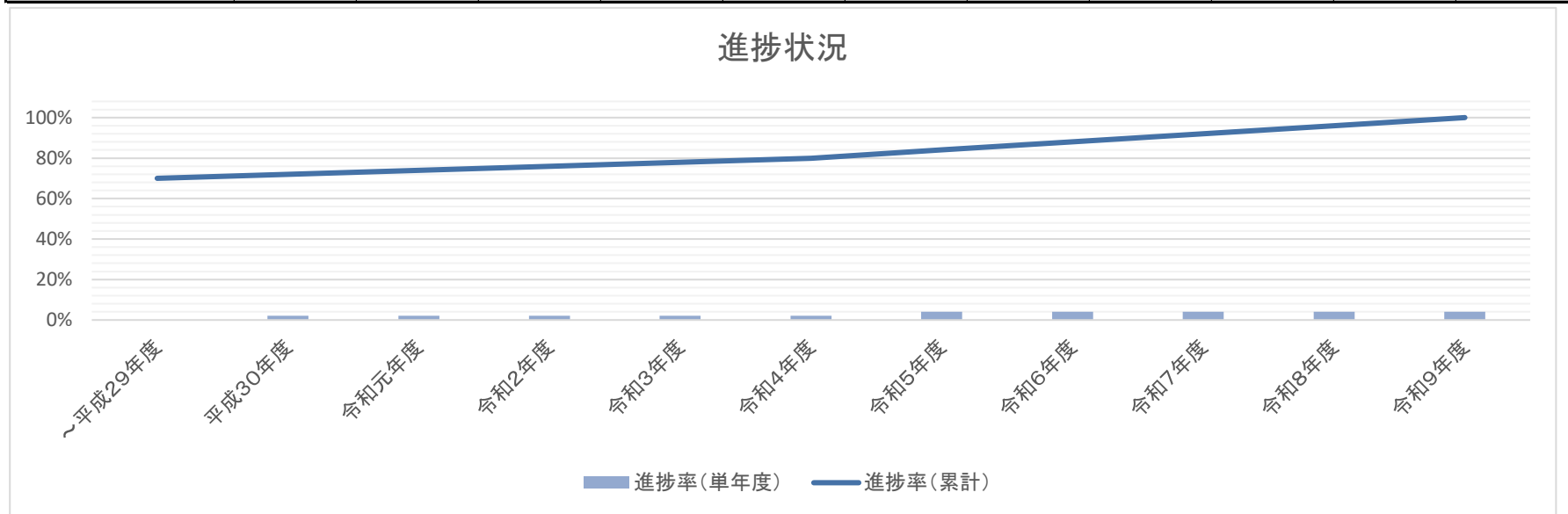
年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		14,984	24,796	21,559	23,196	20,674	30,000	23,000	30,000	23,000	28,419
事業費(累計)		14,984	39,780	61,339	84,535	105,209	135,209	158,209	188,209	211,209	239,628

令和2年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策の推進	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」強化事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県安全環境部環境政策課	終了年度	令和9年度

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		2%	2%	2%	2%	2%	4%	4%	4%	4%	4%
進捗率（累計）	70%	72%	74%	76%	78%	80%	84%	88%	92%	96%	100%



令和2年度 事業報告書

事業名	環境について自ら考え行動する人づくり	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・活動推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県安全環境部環境政策課、循環社会推進課 農林水産部森づくり課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

「未来を創る力」と「環境保全のための力」を育む
 「未来を創る力」
 課題を発見・解決する力やコミュニケーション能力、多様な視点から考察し、多様性を受容する力
 「環境保全のための力」
 環境配慮行動をするための知識・技能や環境保全のために行動する力

2. 概要

楽しく環境活動に参加できる機会の提供や若年層の環境教育指導者の育成などを行い、若者の環境美化活動への参加を促す。また、県民の主体的な活動を促進していくことで問題の解決を図り、持続可能な社会の構築を目指す。

3. 根拠法令等

福井県環境基本条例

4. 実施内容等

- (1) クリーンアップふくい大作戦事業【832千円】
 東京オリンピックや海洋プラスチックごみをテーマに、市町や企業・団体等とともに県下一斉に環境美化活動を展開する。
 ○ごみ拾いイベント開催状況
 11/8 「スポGOMI 大会in福井市」参加者数：39チーム（171人）
 11/15 「クリーンウォーキングin美浜町」参加者数：61人
 11/29 「スポGOMI 大会in大野市」参加者数：23チーム（100人）
 ○クリーンアップふくい応援団活動状況
 応援団派遣回数：1回
- (2) きれいなまちづくり事業【535千円】
 市町、自治会、事業者が主体となった清掃美化活動を展開する。また花植え活動を実施する団体・企業へ花の種まきに必要の資材を提供する。
 ○クリーンアップ&フラワー大作戦の実施
 参加団体：78団体
- (3) 環境アドバイザー事業【430千円】
 県民の環境に関する理解を深め、行動につなげるために、環境学習会を行う団体等の要請に応じ、講師（環境アドバイザー）を派遣する。
 ○環境アドバイザー派遣人数 延べ59人
- (4) 若手環境教育リーダー育成事業【一千円】
 大学生を対象に小中学生向け環境プログラムを企画・実施する機会を創出することにより、次世代の環境教育を担う若手リーダーの育成を図る。プログラム実施にかかる経費について県が支援する。
 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う大学生の授業形態等変更により、令和2年度の事業実施を見送り)
- (5) 気候変動教育プログラム事業【1,000千円】
 ドイツの気候変動教育プログラムを参考に、福井県独自の気候変動教育プログラムを開発・実践し、地域で温暖化防止や気候変動の適応に向けた活動を企画・実施できる人材を育成する。
 ○プログラム試行状況
 高校：1校（3クラス、96名）、中学：1校（5クラス、145名）

令和2年度 事業報告書

事業名	環境について自ら考え行動する人づくり	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・活動推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県安全環境部環境政策課、循環社会推進課 農林水産部森づくり課	終了年度	令和9年度

4. 実施内容等

(6) プラスチックごみ削減対策事業【387千円】
 海洋へのプラスチック流出を防止するとともに、プラスチック廃棄物全体量の削減、持続可能な回収・再生利用を推進する。

- プラスチックによる海洋汚染のパネル展示の実施（6月）
- マイボトル運動協力店舗数：155店舗
- ショッピングセンター等でのマイボトル特設コーナーの設置（8～9月）
- ポイ捨てストップキャンペーンの実施（10回）
- ポイ捨てゼロ宣言登録事業所数：186事業所

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	184,120		184,120	
職員旅費	0			
講師旅費	0			
消耗品費	616,928		616,928	
印刷製本費	332,290		332,290	
役務費	488,092	23,765	464,327	
借料	0			
委託費	1,132,000		1,132,000	
補助金	429,880		429,880	
合計	3,183,310	23,765	3,159,545	(単位：円)

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		4,378	6,767	3,160	6,560	6,565	13,000	13,000	13,000	12,000	12,000
事業費（累計）		4,378	11,145	14,305	20,865	27,430	40,430	53,430	66,430	78,430	90,430

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		5%	5%	5%	5%	5%	6%	6%	6%	6%	6%
進捗率（累計）	45%	50%	55%	60%	65%	70%	76%	82%	88%	94%	100%

